

令和3年度 第1回「人権行政に関する懇話会」議事概要

【日 時】 令和3年8月31日（金）15：00～16：30

【場 所】 オンライン会議

【出席者】 ○：懇話会委員

小出委員、新谷委員、野々村委員、松原委員、八尋委員

●：事務局

人権部長、人権推進課長、人権啓センター所長、人権・同和教育課長 他

【傍聴人】 なし

【議 題】

- 1 「福岡市人権教育・啓発基本計画 実施計画」の令和2年度の進捗状況について
- 2 人権問題に関する市民意識調査について

議題1 「福岡市人権教育・啓発基本計画 実施計画」の令和2年度の進捗状況について
・資料1に基づき事務局より説明

（発言要旨：評価手法について）

- 参加者アンケートの満足度は、事業評価の際の一つの指標となりうるが、第三者による評価も必要ではないか。
- 担当課の自己評価の結果では、事業がうまくいったという評価が多いが、もう少し事業の問題点が見えるような評価手法を取るべきである。
- 今回の評価方法の見直しにより、評価ごとの違いはよく分かるようになったし、内容もよく書き込まれている。しかし、自己評価の手法としては限界にきているので、別の視点も入れた評価手法についても検討すべきだ。
- 自己評価の基準を見直すとともに、各所管課が客観的な指標で評価できるよう、令和2年に策定した「福岡市人権教育基本計画 実施計画（以下、実施計画。）」から事業毎に目標値を定めるなど、事務局としては事業評価の手法について試行錯誤しているところ。
- 事業毎の目標値は、参加者のアンケート結果だけでなく、参加者数などを目標値にしているものもあるが、事業がうまく進捗したことと、人権問題が解決したかどうかは、必ずしも直結するものではないと認識している。
- ご指摘いただいた点については、今後手法を検討したい。

（発言要旨：個別事業について）

- 企業への人権研修の実施にあたっては、経営者との議論も必要ではないか。
- 企業に対する研修は人権啓発センターにおいて、公共職業安定所等と協力して、事業主に対する研修や、その他、公正採用選考人権啓発推進委員などに対して研修を行っている。

●実施計画に基づき、引き続き、企業が人権を考えるきっかけとなるよう事業を進めていく。

○感染症に関する人権教育・啓発の場面で、感染症に関する知識普及の説明を先にして、人権尊重の話を後にすることがよくあるが、この順序は良くない。過去の啓発の中で、感染症は怖い病気だという面が強調されてきて、様々な弊害を生んだ。

○新型コロナウイルス感染症についても、知識普及が先行すると、一般的な受け止め方として、「感染しないようにしなければね」という話にしかない。

○啓発をする際には、人権侵害や差別の話が冒頭にあって、その解決方法を提示しながら、その中で、感染症の説明が出てくるほうが適当だ。

○オンラインで行った啓発事業について、事務局の評価を伺いたい。

●人権啓発センターでは、これまでオンデマンド（録画配信）での啓発事業は行ったことがあったが、令和3年度のコロンキャンパスで初めてライブ配信を行った。

●ライブ配信の場合、やはり通信環境に大きく左右される。今後の事業実施にあたっての課題だと考える。

○感染状況が収まっても、オンラインは併用されるものと予想する。オンデマンドで作り込んで配信するよりも、講師に対して、直接質問や率直な意見交換ができるほうが望ましいと考える。

○昨年度の北朝鮮人権侵害問題啓発講演会に、実際に参加した。教育・啓発の手法は様々あると思うが、「当事者の声を生で聞く（オンラインで聞く）」ことが、一番説得力があり大事だと改めて感じた。性的マイノリティ支援事業についても、当事者の話を聞けるような啓発を行っていただきたい。

●拉致問題の講演会は、当事者のご家族から直接話を聞くことができ、多くの参加者から好評だった。

●性的マイノリティ支援事業に関しては、当事者への支援事業のほか、啓発事業として性的マイノリティに関する映画上映会を開催した。今後とも、当事者団体などの意見も伺いながら、当事者の話が聞ける機会も多く作っていきたい。

議題 2 人権問題に関する市民意識調査について

・資料 2 に基づき事務局より説明

(発言要旨)

- 平成 29 年度の調査結果では、「人権が尊重されている社会だと思うか」を問う設問について、「尊重されている」と回答した割合が下がっているようだが、そのこと自体が問題だとかそういうことはないと思う。人権問題は時代によって変化があつて、調査によってその変化を把握し、対応するために実施している。
- 具体的に、人権問題について「何が尊重されていて、何が尊重されていないのか」、調査結果から分かるよう、工夫しながら設問を検討してほしい。
- 回答者にとっては、「人権」という言葉自体が難解だ。導入の設問は、調査票を受け取った人が答えやすいように、もっと平易な表現で、例えば「人として大切にされているか」などの聞き方がよいのではないか。
- 関心の高い人権問題を見ると、「働く人の人権問題」など、自分に身近な人権問題について、強く意識しているとの印象を受けた。
- 新型コロナウイルス感染症という新たな課題が出てきた。新たな課題が出るたびに、関心が高くなっていくと思う。